

家庭を守る 防火防災マニュアル

Disaster Prevention Manual



神戸市

火災対策

建物火災の約6割は私たちが暮らす住宅で発生しています。

住宅火災のほとんどはちょっとした不注意から発生しており、日頃の心がけ1つで発生を防ぐことができます。長い時間を過ごす“我が家”を世界で一番安心できる場所にしましょう。

身近に潜む 火災の原因 ～忘れていませんか？ 火元のチェック～

電気

配線のショートやトラッキング現象、長年使用していたことによる経年劣化などが原因で火災が発生しています。

トラッキング現象とは？

長期間プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、プラグとコンセントの間に埃が溜まります。

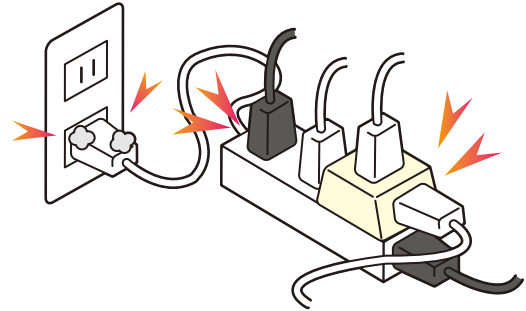
その埃が湿気をおおくと、通常は電気を通さないプラグの刃と刃の間で小さな放電が繰り返されて炭化します。

そこにやがて電流が流れるようになり、発熱して出火します。

電気製品の電源が入ってなくても出火することがあります。

✓チェック!

- ☐ タコ足配線はしない、コードを束ねて使わない
- ☐ コードの許容電流を確認し、それを超えて使用しない
- ☐ コンセントやプラグは定期的に乾いた布で拭き、埃を溜めない
- ☐ 電気コードを踏まない、家具などの重いものを上に置かない
- ☐ 本来の使用目的と違う使用をしない
- ☐ リコール対象商品になっていないか確認する

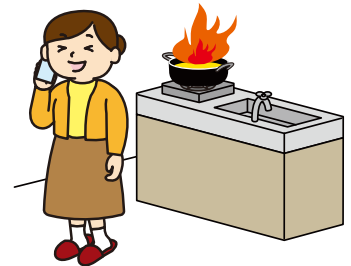


コンロ

コンロ火災のなかでも毎年多く発生するのが「天ぷら油火災」です。ほかの家事をしたり、電話をしたりスマホに夢中になっているうちに火をつけていることを忘れ、気付いたときには鍋から炎が上がっているという事例がほとんどです。

✓チェック!

- ☐ コンロに火をつけたらその場を離れない
- ☐ コンロの周りに燃えやすいものを置かない
- ☐ 凝固剤を使用するために油を加熱している際もその場を離れない
- ☐ コンロを定期的に掃除する
- ☐ 過熱防止装置の付いたコンロを使う



▶危険な天ぷら油火災の消火方法 絶対にしないでください

▶座布団や毛布をかける

一瞬火が消えたように見えますが、座布団や毛布に火が燃え移ります。



▶水をかける・野菜を入れる

燃えている油に水をかけたり、野菜を入れたりすると水が一気に沸騰して水蒸気になり、弾みで油が飛び散ります。



▶鍋を移動する

持ち出そうとして途中で鍋を落とす、油をこぼしてしまつて負傷、延焼拡大します。



消火には消火器を使用しましょう。詳しくは4～5ページ▶

放火

家の周りに置かれた不用品やごみステーションに出されたごみ、鍵の開いていた物置の内部への放火などが発生しています。家庭・地域が一体となって「放火されにくい環境」を作ることが大切です。

✓チェック!

- ☐ 家の周り、アパートの階段下などに燃えやすいものを置かない
- ☐ 物置や空き家には鍵をかける
- ☐ 地域で協力してパトロールをする
- ☐ ごみは収集日の朝に指定袋に入れて出す
- ☐ 家の周りを明るくする
- ☐ 防犯カメラやセンサーライトを設置する



🔥 たばこ

たばこの火などの小さな火源は、消したつもりでもくすぶり続け、数時間経ってから燃え上がることがあります。たばこの火をきちんと始末するのは喫煙者にとって最低限のマナーです。

✓チェック!

- ☐ 布団の上で絶対に吸わない
- ☐ 吸殻は水を入れた灰皿に捨てる
- ☐ 火が消えたことを必ず確認する
- ☐ 灰皿は定期的に掃除し、吸殻を溜めない

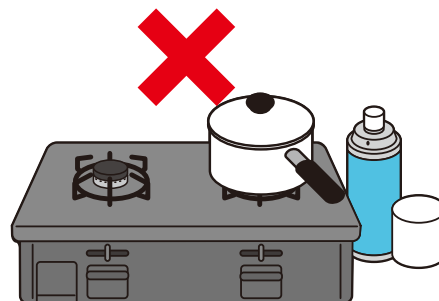


🔥 カセットボンベ・スプレー缶

カセットボンベや殺虫剤、制汗剤、消臭剤などのスプレー缶には、可燃性ガスが含まれるものが多いです。使用方法や保管場所を誤れば爆発して火災につながることもあり大変危険です。

✓チェック!

- ☐ ストーブなどの火気の近くに置かない
- ☐ カセットコンロを2台以上並べて使わない
- ☐ スプレー缶は中身を使い切って、穴をあけずに他のごみと分けて廃棄する
- ☐ 中身は火気のない屋外で排出する

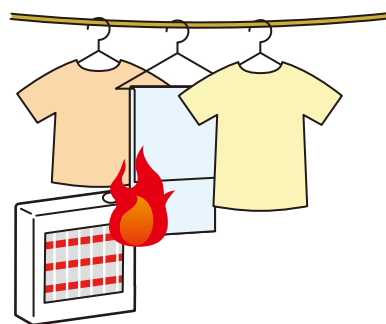


🔥 ストーブ

ストーブの近くに燃えやすいものを置かないのはもちろんですが、火をつけたまま給油や移動を行うと、こぼれた灯油に火がついたりして火災が発生します。最近普及している電気ストーブなどは、炎が目に見えないため火災は起こらないと思いがちですが、電気ストーブなどでも火災発生の危険性があります。

✓チェック!

- ☐ 寝るときは必ず消す
- ☐ ストーブの上で洗濯物を干さない
- ☐ カーテン、新聞紙などの燃えやすいものの近くで使わない
- ☐ 近くにスプレー缶を置かない
- ☐ 転倒時自動消火装置など、安全装置が付いたものを使う



🔥 火遊び

子どもは好奇心が強く、大人が火を使っているのを見て自分も使ってみたいという気持ちになることがあります。また、炎や花火などの「動くもの・美しいもの」に強い興味を持つのも子どもの特徴です。しかし、子どもは火の危険性や安全性まで考えることはできません。

✓チェック!

- ☐ 子どもの手の届くところにマッチやライターを置かない
- ☐ 花火など、火を取り扱う際は必ず大人が付き添う
- ☐ 子どもに火の恐ろしさを教える



① 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器とは、“煙”や“熱”を感知して、警報音や音声でいち早く火災を知らせてくれる機器です。すべての住宅に設置が義務付けられています。(自動火災報知設備やスプリンクラー設備がある建物は除く)

▶ どこに設置するの?

「寝室」と「台所」、また、上の階に寝室があるときは「階段室」に設置が必要です。

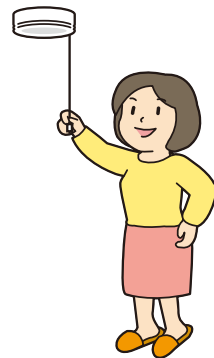
ただし、火災はどこで起きるか分かりませんので、リビングなどにも設置しておく安心です。

▶ 維持管理はどうするの?

本体の点検ボタンを押すかヒモを引くなどし、正常に作動するか確認しましょう。

また設置から10年以上経過している場合、新しいものへ取り替えましょう。

新しいものへ取り替える際は離れた部屋でも火災の発生を知らせる“連動型”を設置しましょう。



設置していて良かった! 《事例1》

揚げ物をしている最中にかかってきた電話をとり、そのまま話に夢中になっていました。煙を感知した住宅用火災警報器の警報音に気付いて鍋を見ると煙が!炎があがる前に火を止めることができました。

設置していて良かった! 《事例2》

就寝中に、物置として使用している和室で火災が発生しました。この和室は以前は寝室だったので住宅用火災警報器を設置しており、火災を感知した住宅用火災警報器の警報音で目覚め、初期消火をおこなって火災を消し止めることができました。

■ しらすちゃんクーポンで住宅用火災警報器をお得に! ■

住宅用火災警報器普及協力事業所のうちクーポン券に対応する店舗で住宅用火災警報器を購入する際に提示すると、割引等の特典を受けられるクーポン券です。

クーポン券は、神戸市消防局のホームページに掲載しております。

普及協力事業所とは

神戸市内の販売店・電気工事業者・消防設備業者のみなさまと連携して、「しらすちゃんクーポン」への特典対応、特設コーナーの設置、ポスターの掲示など、可能な範囲で取り組みを行っていただいています。

② 住宅用消火器

火災の発生に気付いたときに初期消火をすることができれば、延焼を防ぎ、被害を最小限に抑えることができます。住宅用消火器を設置し、使い方もマスターしておきましょう。

▶ 住宅におすすめ!強化液消火器

消火薬剤に強化液を使用しているものは冷却効果があるため、

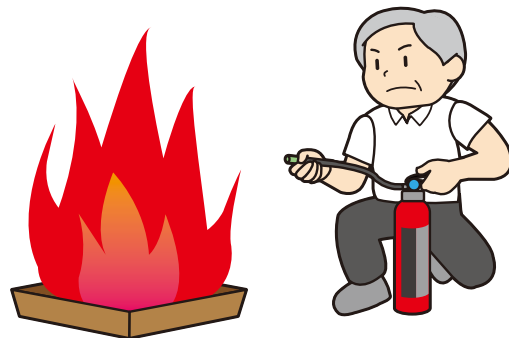
天ぷら油火災などの住宅で発生する火災の消火に適しています。

また、粉末消火器に比べて消火薬剤が拡散しないため、視野が妨げられることなく、確実に火元をおさえることができます。

▶ どこに置けばいいの?

台所など、普段から火気を取り扱う場所に設置しましょう。また、玄関などにも設置しておくとう火災の発生に気付いた近隣の方が初期消火をする際に役立ちます。

廃棄消火器についてはHPに処分方法を紹介していますので、ご確認ください。



③ 防災品

住宅火災の多くは、たばこやコンロなどの小さな火種が布団や衣類などの繊維製品に着火し、延焼拡大していきます。防災品は炎が触れても燃え上がりにくい素材が使われているので延焼拡大を抑える効果があります。

▶ 防災品が販売されているもの

エプロン・アームカバー・シーツ・布団カバー・枕カバー・パジャマ・カーテン・バイクカバー等

▶ どこで買えるの？

ホームセンターや家具店、インターネットなどで販売されています。

公益財団法人 日本防災協会

検索



火災発生!そのときあなたは...

「火事だ〜!!」と大声で近所の人たちに伝えましょう。

① 早く知らせる

119番通報の要領

① 119番に電話をかける

② 神戸市役所内の神戸市消防局管制室に繋がり、通信指令員が応答する

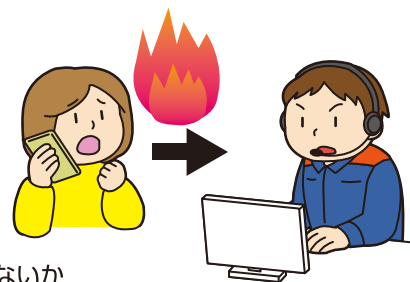
はい、119番神戸市消防局です。火事ですか? 救急ですか?

③ 落ち着いて管制員の質問に答える

住所(目標物)は? あなたの電話番号は? あなたのお名前は?

現在の状況は? ➡ ■火事の場合 ○何が燃えているか ○逃げ遅れた人やけが人がいないか

○どれくらい燃えているか 等



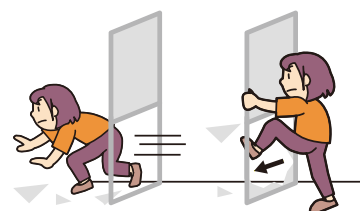
② 早く逃げる

危険を感じたらすぐに避難します。マンションなどの共同住宅の場合、廊下や階段はいざというときの避難経路になっています。廊下や階段には物を置かないようにし、いつも整理整頓しておきましょう。

また、玄関から出られなくなった時のことを考え、最低2つ以上の避難ルートを確認しておきましょう。

1つめの避難ルート 普段使っている玄関口から避難しましょう。

2つめの避難ルート バルコニーのお隣との間にある仕切板(破壊板)を破り、ベランダに設置された避難はしごなどを使って避難しましょう。



③ 早く消す

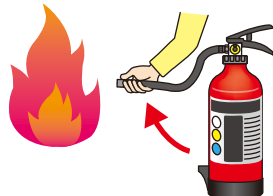
火災は初期消火が決め手です。初期消火のときは、自分の避難経路を確保し、自らの安全を確認してから行ってください。炎が自分の背丈を超えるほど大きくなった場合は大変危険ですので、初期消火は断念してすぐに避難してください。

消火器の使い方

① 安全栓を上引き抜く。



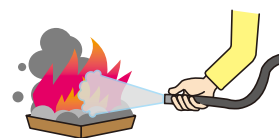
② ノズルを火元に向ける。



③ レバーを強く握る。



④ 燃えているものに放射する。



地震対策

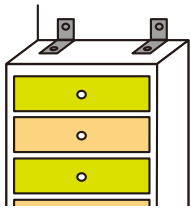
日本は世界でも有数の地震発生国です。地震はいつ、どこで発生するか分かりません。普段からしっかりと対策しておくことが重要です。

地震に備える

家具の転倒防止

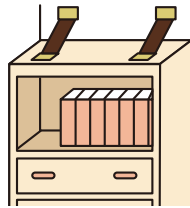
阪神・淡路大震災では、家具の転倒等により多くの方が命を失い、大けがをしました。「地震では家具は必ず倒れるもの」と考えて、日頃から家具の固定をしましょう。また、家具の配置を見直すことも大切です。

▼ 金具で固定



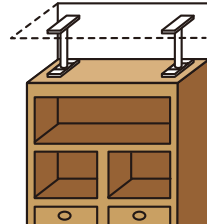
L字金具で固定するのが最も効果的です。

▼ ベルトなどで固定



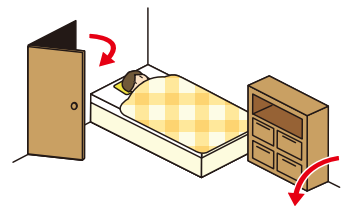
転倒防止用ベルトなどで固定します。

▼ つっぱり棒で固定



天井がしっかりといて家具とのすき間も小さくないと効果が期待できません。

▼ 家具の配置を工夫



家具が倒れても人にあたらず、ドアが開く場所に配置しましょう。

感震ブレーカー

地震の揺れを感知したときに、ブレーカーを切って、電気を自動的に止める器具で、通電火災を防止する有効な手段です。阪神・淡路大震災で発生した火災のうち、原因が特定されている火災の約6割が「通電火災」でした。通電火災とは、停電から復旧した際に、地震で倒れたり、家具の下敷きになったりした電化製品に通電することで発生する火災のことです。

感震ブレーカーには様々な種類がありますので、ご家庭に合うものを選んで設置しましょう。

グラツときたら

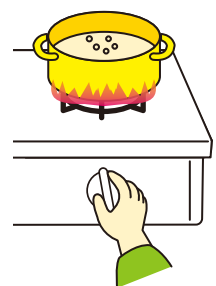
● まず、身の安全を守る

あわてて外に飛び出さず、机やテーブル、ベッドなどの頑丈な家具の下に潜り込み、落下物などに注意して身の安全を守ります。



● 火の始末をする

身の安全を確保してから火を消しましょう。



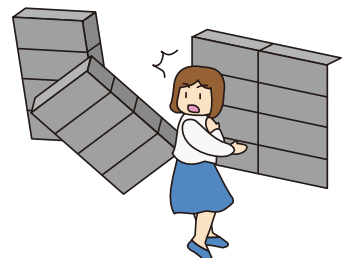
● 出口を確保する

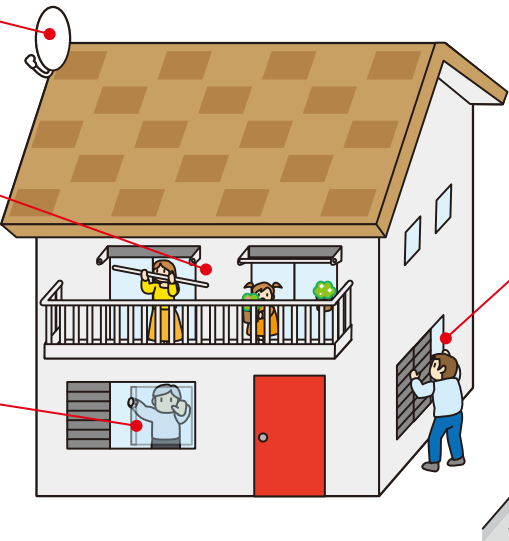
玄関のドアが変形して開かない場合があるので、揺れを感じたらドアを開けて脱出口を確保しましょう。マンションなどではバルコニーからの避難も考えておきましょう。



● ブロック塀、崖、川べりに近づかない

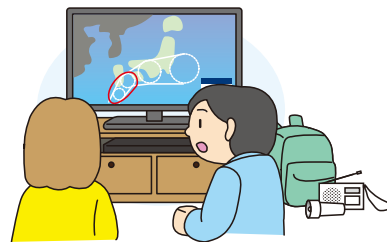
地震のあとは、ブロック塀や崖、川べりが崩れやすくなっているため近づかないようにしましょう。



- 屋根やアンテナに異常がないか確認する
 - バルコニーや家の周りの鉢植え、竿など飛ばされそうなものはすべて取り込む
 - 窓にひび割れやがたつきがないかチェックする。場合によっては強風による飛来物などに備えて、ガラス飛散防止フィルムを貼るなどの工夫をする
 - 窓や雨戸、シャッターを閉め、カギをかける
 - 排水溝や側溝などを掃除して水はけをよくしておく
- 

災害が近づいてきたら・・・

- ラジオやテレビなどで気象情報に注意する
- 外出からは早く帰宅し、家族と連絡をとって非常時に備える
- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオの用意をする



防災のポイント

自分たちのまちは自分たちで守る ～防災福祉コミュニティ～

阪神・淡路大震災では、震災発生後約14分で54件もの火災が神戸市内で発生しました。それに加えて、建物倒壊などにより救助を求める人たちも多数発生しました。

大きな災害が起こったときには消防機関だけでは対応が困難になります。

「自助」（自らの命を自らで守る）、「共助」（自分たちのまちは自分たちで守る）の精神がとても大切です。

普段から隣近所のつながりを作り、みんなで神戸のまちを守りましょう。

▶ 地域の防災訓練に参加する

神戸市では概ね小学校区単位で防災福祉コミュニティが結成され、活動しています。

いざという時のために、地域の防災訓練に参加して消火器の使用方法や安全な場所への避難、応急手当の方法などを学びましょう。

防災福祉コミュニティの実施する訓練は神戸市ホームページ内に掲載しています。

防災福祉コミュニティ 訓練

検索

▶ 地域のつながりを作る

防災訓練への参加だけでなく、地域の行事に参加したり、あいさつをしたりなど普段から隣近所とのつながりを作っておきましょう。

▶ 知っていますか？あなたのまちの防災資機材庫

災害発生時の消火・救出活動で使用する小型動力ポンプやジャッキ、スコップ、のこぎりなどの防災資機材が各地域に配備されています。

これらの資器材は、公園や学校などにある防災資機材庫に保管されています。

あなたのまちの防災資機材庫の場所を確認しておきましょう。防災資機材庫の鍵は、公園などの近くにお住いの防災福祉コミュニティ役員が保管し、使用時に開錠することになっています。



神戸市消防局ホームページ



防火トピックス



火災の実験動画



住宅用火災警報器



住宅用消火器



各防災福祉コミュニティ
の活動のご紹介

その他ページ



リコール情報サイト
(消費者庁)



南海トラフ地震・津波
に備えるための
10のポイント



神戸市住まいの
耐震ガイド



くらしの防災ガイド



公益財団法人
日本防災協会

